

まくはり Baytown News

第 37 号 (2000 年 6 月 1 日) 発行
まくはりベイタウンニュース
編集局



ベイタウン まつり 2000 写真集



おかげさまで3周年

我がまくはりベイトウンニュースは、1997年6月に第1号を発行して以来、毎月1回のペースを守り続け、この6月号で3周年を迎えることができました。この間、経営危機（スポンサーが見つからず、やむなく白黒版で切り抜けること3回）や編集ミス（誤字や脱行のまま発行したり、配慮を欠いた記事を掲載し、読者の方からお叱りを受けたり）などありましたが、3年目ぐらいからようやく、「今回は良くできたね」と自信を持って出せる号も徐々にできるようになりました。また、関係の各方面（企業庁、デベロッパ、小中学校、周辺企業など）の認知度も高まり、取材や広告取りもやりやすくなってきています。

ここで、ベイトウンニュースの発行の経緯や、これまでの流れをご存知ない新しい住民の方のために、この場を借りて、当ベイトウンニュースを自己紹介しておきましょう。

●発行の経緯：幕張ベイトウン自治会連合会の結成（1997年6月）を機に、ベイトウン内および外とのコミュニケーションのためのコミュニティ誌の必要性を認識するボランティア（現ベイトウンニュース編集局）により発刊。

●発行部数：約4,000部/月

●配布対象：幕張ベイトウン住宅地域の全戸、幕張新都心業務地域企業および施設利用来訪者、打瀬小中学校への来訪者、千葉県企業庁、千葉市、千葉市教育委員会他県内外の行政機関

●運営形態：幕張ベイトウンの街作りにご協力頂ける企業にスポンサーをお願いし、その広告掲載料で発行する（非営利）。

●配布：毎月1回（基本的に第一土曜日）、ベイトウンニュース発行に賛同してくれる有志（ベイトウンニュース・サポーター。常時募集中）により全戸に無料配布

●投書箱：ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤンマー、リンクコスに設置（青い箱）。投書のときは、必ず連絡先の記載を！

ついにベイトウンでも車庫法違反で車両を検挙

最近路上駐車が減ったと思いませんか？気のせいではなく確実に台数が減りました。ただし夜だけかもしれませんが！理由は住民のモラルが向上したのではなく、ベイトウンの駐車状況に痺れをきらした千葉西警察が連合会からの要望もあり、4月28日に車庫法違反の取り締まりを行ない、車3台を摘発したからです。

かねて幕張ベイトウン自治会連合会交通委員会では青空駐車への対応をめぐる激論を交わしてきました。いつまでもモラル向上を訴えるだけでは一向に減らない違法駐車への苛立ちからベイトウン全域を駐車禁止区域に指定すべきだとの意見と、いやそれでは住民のモラルを信じ3年間努力してきた事が無に帰してしまう、もっと住民への協力を要請し、ベイトウンらしい罰則に頼らない街作りをしたいという議論ですが、結果的には実に情けない事に、公権力の介入がほんの一部とはいえ違法駐車を減らすことになりました。本誌上で再三に渡り駐車モラル向上を訴えてきた身としても実に力のぬける展開です。取り締まりに関して千葉西警察の交通係長に聞いたところ、今後も

事前通告なく取り締まりを継続していくとの事でした。車庫法違反での検挙は、罰金が4～5万円、減点は3点にもなり、そのうえ刑法で前科一犯のレッテルが付き、道路交通法の軽い違反とは違い、割に合わない結果を招きます。

それにしても昼間の路上駐車のごい事、緊急車両や路線バスの通行に支障をきたし非常に危険でしたが、ついに4月29日グランパティオス公園東の街の前で、家具店の配達車両で見通しが悪くなっていた車の間から、横断歩道に出た女兒の自転車車が車に接触する人身事故が発生しました。女の子はちゃんと横断歩道を渡っていたし、車を運転していたドライバーも注意していたようですが、大型車両のかげから現れた小さな子供は避けられなかったようです。幸い軽いケガで済みましたが、大事な事ならなかった事が不思議なくらい路上駐車はひどい状態です。

ベイトウンニュース年表（3年の歩み）

1997年6月まくはりベイトウンニュース発刊。自治会連合会（当時は設立準備会）からのメッセージ、コア研・交通委員会からのメッセージ、打瀬小中学校だよりなど。編集局は金・松村・板東の3名。

1997年7月：編集局に佐藤さん加わる。

1997年9月：マルチメディア研究会によるベイトウンネット立ち上げのお知らせ。

1997年11月：初めての白黒印刷。ベイトウン保育日記（ベイトウン周辺の保育園・幼稚園の紹介）始まる（第24号まで12回に渡り不定期に継続）。

1998年2月：12星座シンボル記事。この記事を引きかき、一時盗難にあっていた1番街の牛のシンボルが戻ることに。

1998年6月：住民の手による初めてのベイトウンまつりの報告。

1998年7月：街創りへの提言シリーズ始まる（第18号まで5回シリーズ）。連合会から広報委員長として田村さんがニュース創りに参画（広報委員長の任期の翌年6月まで）。

1998年8月：第1回読者アンケート実施。結果を同年10月号に掲載。

1998年9月：編集局に浜田さん加わる。

1999年1月：ベイトウン年男・年女シリーズ開始（毎年1月号）。

1999年2月：編集局に茂木さん加わる。

1999年6月：コミュニティコア基本計画報告。

1999年8月：マリーンドッキの名称公募。結果を同年10月号に掲載。

1999年11月：第1回ベイトウンフォーラム報告。

2000年2月：ベイトウンWHO'S WHO始まる（継続中）。

2000年3月：シリーズ「番街紹介」始まる（継続中）。

これからも、自己満足、マンネリに落ち入ることなく、5周年、10周年を目指して、編集局員一同頑張っていきますので、応援をよろしくお願いします。 【板東】

見通しの悪い原因は横断歩道の前後に大型の車が停まっていた事です。この時期は新規街区への引越し車両が多かったという事を差し引いても、駐車する人たちの意識には問題があります。このような記事を書くとき必ず威圧的だとか強制力を感じると言った匿名投書をもらいますが、車を停める自由があるなら、同時に守らなければならないルールもあるのではないのでしょうか？特別な事ではありません。路上に停める時間をなるべく短くし、必ず駐車場に車をしまおう。とても簡単なことを呼びかけています。短時間の駐車でも状況判断は必要です。 【金】



事故発生付近の道路、今も駐車は絶えない

佐藤 総一さん (17 番街在住)

5月13日、住民主催で開く3回目のベイタウンまつりが悪天候に見舞われながらも無事終わりました。フィナーレを飾った打ち上げ花火は予想を上回る大がかりなもので、集まった人たちの拍手にも力がこもっていたように思います。毎年恒例となったこのベイタウンまつりを1回目から裏方として支えてきたのが、過去2度にわたってまつりの実行委員長を務めてきた佐藤総一さん(37歳)。高校と大学を通じて学園祭の実行委員を5度も経験してきた積み重ねがあるだけに、「仕事」ぶりはすっかり板に付いています。「なぜ、佐藤さんはまつりの裏方仕事をこんなにも好きなのか」。まつりにかける佐藤さんの思いを通じて、今回はその謎に迫ります。【茂木】

「まつりを作り上げていく過程での人と人とのコミュニケーションがおもしろい。自分がおもっていないものをもっている人がいたり、まつりに興味ある人だから、やっぱり独特な考え方も持っている人がいたり。そういういろんな人たちが集まってくるところに身を置くと、おもしろい体験ができるのがいい」

みんなでワイワイ言いながらひとつのものを作り上げていくプロセスがおもしろい。佐藤さんにとっての裏方仕事の魅力はこの一言につきるようです。たしかに、共同作業を通じて絆(きずな)が深まる、というのは世の中の真理でしょう。

「学園祭の企画で印象に残っているのは、大学3年のときのもの。実行委員会

のメイン企画で、日本のジャズミュージシャン、ギターの渡辺香津美さんとか、ドラムの村上“ポンタ”秀一さんとか、ピアノの橋本一子さんとかで、その場限



ご指名の撮影ポイントは、かるがも館脇の築山。佐藤さんはいま、地域教育のあり方にも関心をもっていて、「地域の活発なおじさんやおばさんはいまでも印象に残っている」と言います。同感。子供に影響与えるのは、親や先生ばかりじゃないですね。

りのセッションを組んでもらって2000人収容のホールをいっぱいにしたことがありました」

実現までのプロセスにおもしろさを感じるのはやはり、こうした経験の積み重

ねがあったからこそでしょう。名立たるプロに学生向けに低料金を演奏してもらおうよう説明したり、照明や音響は知り合いのサークルに頼んだり、どういう企画にすればホールをいっぱいにすることができるかに知恵を絞ったり、……。手作り、国内を代表するメンバーを集めて一度きりのセッションを実現できた——その達成感が佐藤さんの中に強く残っているようです。

「ベイタウンまつりとかかわりは、『おまつりやりませんか』という呼びかけのポスターをみて、興味があったので打ち合わせをのぞきにいったのが始まり。その場でいろいろ意見を言ったがために、『じゃあ、あなた責任者で』と」

一枚のポスターをきっかけにベイタウンデビューを果たした佐藤さん。大学卒業以来これまで住んでいたところでは、仕事が忙しかったこともあって地域のイベントにかかわることはなかった、と言います。けれども移り住んできて、「地域の人をよく知るための一つの手段」としてまつりの裏方仕事にみずから飛び込んでいって、地元での付き合いを深めていこう、との姿勢に転じます。

「頭で考えて口に出していることを、どうやって実現していくかまで考えていこうよ。やってみたいことを、ボランティア精神からでも自己実現のためでも自分から手を挙げて実現してメッセージを発することが、地域とかかわりを深める、いちばんの近道」

古くからの街だと得てして、新参者はモノを言いつらい。でも、ベイタウンはだれもが「新しい住民」。入居時期に数年の差はあるとはいえ、歴史を背負った街に比べて手を挙げやすい雰囲気はまだまだあるでしょう。1枚のポスターからでも気軽に「デビュー」を果たせる、そのよさはいつまでも大事にしていきたいものです。

今年も巨大ヒマワリは咲くか

ヒマワリロード大作戦

ベイタウンまつりを前にした5月7日、メッセ大通り沿いの未舗装の海側歩道(ヒマワリロード—名付け親は前打瀬小学校校長、溜 昭代先生)で今年もヒマワリのタネまきが行われました。今年で3回目になるこの催しは、打瀬小学校のリス君にエサのヒマワリのタネを1年分プレゼントしようという思いつきで始められたものですが、5月初旬の種まきと夏のメッセ大通りを飾るロシア種の巨大ヒマワリ並木はベイタウンの風物詩としてすっかり定着したようです。

今年のヒマワリロード大作戦には、打瀬小学校の子供たちとそのご父兄を中心に40人程が集まってくれました。用意されたタネは、ベイタウンではすっかりお馴染みのロシア種の巨大ヒマワリを中心に3種類。これらは前打瀬中学校校長の渡辺 昭先生のご尽力で千葉市が提供してくれたものです。このタネを子供たちが小さな手でひとつひとつ15cm程の間隔で植えて行き、用意された場所は1.5時間程ですっかり植えつくされまし

た。日頃、土と接することの少ないベイタウンの子供たちですが、この日は土の中から出てくる甲虫の幼虫やミミズを捕まえておおさわぎ、ベイタウンに残された貴重な小自然を満喫していました。【松】



ベイタウン・ワイルドフラワーガーデン

10番街横のアクアダクトパークの工事もいよいよ始まりましたが、この公園の工事現場に時ならぬお花畑が出現しました。白や黄色、紫、あらゆる色の花が大小さまざまに咲き、しかもその花の帯が100mほどもつづいています。最初は誰かが植えたのかと思っていたのですが、位置も種類もバラバラで人工的に作られたものとは思えません。しかし、咲いている花は園芸品種用の見栄えのするものばかりで10種類程もあり、マーガレットやその他、強い花ではありますが、野草ではありません。

先日、おばあちゃんお2人がこのお花畑を散歩していたのでお話を伺い、貴重な情報を得ました。この花が咲いている



部分は、以前は溝になっており、夏にも水が枯れず、カエルのなく湿地だったのですが、虫が出るなど住民の苦情でこの部分を昨年春に埋めました。その際の埋め立てに使われた土が、海浜幕張駅付近の企業庁管理の花壇の土だったらしいのです。花壇の土に落ちたタネが今になって芽をだして、花を咲かせたという話です。

さらに、真偽を確かめるべく、このあたりの事情に詳しい企業庁の千賀氏に問い合わせたところ、実は駅周辺の花壇は、造成されたときある意図をもってつくられており、潮風や環境に強い花をえらんで、タネを適当に土壌に混ぜておき、毎年偶然に(?)発芽するのを楽しみに土

を作った「ワイルドフラワーガーデン」だったということです。その土が今回公園予定地に埋め立て用として使われ、運搬の際にショベルカーで土おこしされ、春になって芽を出して、時ならぬワイルドフラワーガーデンを10番街脇に出現させたという訳です。

この花壇も工事開始に伴い、すっかり更地にされて、このベイタウンニュース6月号が配布される頃には跡形もなく消えているでしょう。初夏のベイタウンに蜃気楼のように現れ、また消えていった「ワイルドフラワーガーデン」。またいつかベイタウンの空き地に姿をあらわすかもしれません。 【松】



番街紹介 第4回 「ミラリオ」

シリーズ第4回目は、高層階からの景観がとてもよいと評判のミラリオです。ミラリオとは、スペイン語で「川の見えるところ」という意味ですが、「朝日が昇るのが見え、青い海や天気の良い日は富士山も、また空を染めながら沈んだ夕日のあとは、マリスタジアムの花火まで楽しめるどころ」だそうです。

花見川を背に建つ、高層階の扇形のアクセントが目立つ建物が、ミラリオ3番館・4番館・5番館、駐車場と開放的な中庭をはさんで建つのが1番館・2番館。各エントランスには、海をイメージさせるカラーレリーフ(サカナ、カニ、ザリガニ、エビ、ウミドリ)があり、各番館の目印になっています。



また、集会室は第1、第2集会室(35畳大の洋室と15畳・10畳の和室)があり、ミラリオ居住者にのみ貸し出しています(写真上)。このミラリオの高層階壁面と集会室が活躍するのは、クリスマス。毎年、有志の人たちで、高層階壁面を利用した大きなツリーのイルミネーションと、集会室を使っのクリスマス会が行われ、子どもたちの楽しみのひとつになっています。

取材に行った日、開放的な中庭で、外国人のお子さんや幼稚園くらいの子もたちが遊び、年輩のご夫婦が散歩を楽しんでいました。ベイタウン全体では子育て真っ最中の世代が多いようですが、ミラリオは、新婚さんからご年輩のかたがた、外国人のかた...と、いろいろな人たちが気軽に挨拶を交わしながら住んでいらっやいます。 【浜田】



ベイタウン事業計画の変更にかかわる説明会に参加しよう!

先日、ベイタウン地区の事業変更についてのお知らせが企業庁より、全戸に配られました(B4二つ折りのもの)。

お気づきでしょうか。内容は、計画人口の見直し、用途地域の変更(インターナショナルスクールやビジターセンターの建設用地の変更など)でした。私たちはもちろん、子どもや孫の将来にもかかわる大切な事柄です。もう少し詳しい話を聞きたいという方も多くいると思います。そういう意味でも企業庁の説明会はいいい機会です。

ぜひ、下記の説明会に参加して住民としての意見や疑問点をお話してください。

◆幕張新都心住宅地(ベイタウン)事業の変更にかかわる説明会

上記事業変更のお知らせについては、去る5月11日ベイタウンにお住まいの皆様へ配布したところですが、さらに皆様のご理解をいただくために説明会を開催いたします。

日時:平成12年6月11日(日)午前10時~12時

場所:幕張ベイタウン8番街集会所

問い合わせ先:企業庁幕張新都心建設課 TEL.043-223-3642

ベイタウン自治会連合会定期総会開催

日時:平成12年6月11日(日)15:00~17:00

場所:パティオス8番街集会所

当日は連合会加入の自治会代表が出席し、次の議案について報告及び質疑応答を行います。オブザーバーとして、一般の方の参加も歓迎です。なお、会場の席に限りがあり、入場を制限する場合があります。

- | | | |
|----|--------------|--------------|
| 議案 | 1.平成11年度事業報告 | 4.平成12年度予算 |
| | 2.平成11年度会計報告 | 5.平成12年度役員改選 |
| | 3.平成12年度活動計画 | |

多摩ニュータウンのコミュニティとまちづくり

昭和46年に入居が始まった多摩NTでは、まちの熟成に伴いさまざまなコミュニティ活動が生まれています。長池エリア(京王堀ノ内駅近辺)では、住民の皆さんの活動がNPO法人化へと展開し、環境・住宅・コミュニティ・教育・育児・介護など生活全般に係わる暮らしの支援を目的に活動されています。

NPO・FUSION 長池
〈ぼんぼこウェブ〉

/www.pompoco.or.jp

多摩NT学会

http://www.tama-nt.org

公団多摩NTホームページ

http://www.tama-nt.com

編

■ベイタウン祭りの時は残念ながら不在で見ることができませんでしたが、準備にたずさわっていた皆さん、本当にお疲れ様でした。来年は晴れると良いですね!

住民主導では3回目となるベイタウン祭りは新しい街区の方も大勢参加され自然な形で住民交流が進み非常に良かったと思います。

ところであの花火ですが、私たちが普通に買える物とは火薬の量から違うそうです。打ち上げ花火は今でも殆どが手作りですし、プロの方がタイミングを考えて打ち上げるので迫力が違う!! 来年はワインでも飲みながら見たいものです。

企画: #3-220 金一剛 (T&F211-0388/ikkim@xa2.so-net.or.jp)

■地域の運動会“ウタスポ”の命名について、興味深い話を聞きました。それは、生徒数も少なかった開校の年の事...小学校と中学校合同で運動会をしようという事になった時に、当時中学生だった子どもたちで、いろいろな案を出し合って決めたそうです。「街開き5周年」と歴史の浅い街ですが、“ウタスポ”という名前ひとつの中にも“歴史の一步”があるのですね。

記者:公園東の街 浜田貴代子 (atmark@pop01.odn.ne.jp)

■よく3年間1回も休まずに発行し続けられた!と今さらながらに感慨深いものがあります。私個人の記事で印象に残っているのは、行方不明だった1番街の牡牛像が返ってきた十二星座のモニュメントの記事と打瀬中学校の前校長渡辺先生の情熱が伝わってきた「教育の庭」づくりの記事、そして現在大活躍中の柏レイソル北嶋選手との子どもたちとの交流を取材した記事です。太巻き祭り寿司をごちそうになったひまわり会の取材も忘れられません。美味しかった!

タウンスケッチ記者: #3-310 佐藤則子 (T&F211-0090)

■一時期、ベイタウンネットの掲示板上で、マリンデッキの自転車通行に関する議論が盛んに行われていました。「歩道橋」を自転車で乗って通行するのは、違法か合法か、といったやりとりもありました。客観的な事実として、①保護者が目を話した際に下り坂で暴走して、転倒してしまった子供がいる②一気に登ろうとして勢いを付けて登ってくる自転車が、歩行者とニアミスすることがままある、という点は否定できないと思います。いろいろな意見があると思いますが、少なくとも他人ないし自分を危険に晒すような行為は最低限避けてもらいたいと思います。

編集: #1-210 板東司 (T&F:211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp)

■隅田川にかかる厩橋(うまやばし)のたもとに住んでいたことがあります。花火の打ち上げ場所のすぐ近く。毎年恒例の花火大会は、ビルの屋上で火の粉をかぶり火薬のにおいに酔いしれながら楽しんでました。「火の粉」「火薬のにおい」「立ちこめる煙」—これがなきゃ花火大会も興ざめです。ベイタウンまつりの花火大会には、ひさびさの大満足。関係者のみなさんありがとうございます。

記者: #7-301 茂木俊輔 (T&F 211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

■2年前に亡くなった母の法要で、久しぶりに徳島の山の中の田舎へ帰ってきました。新緑に覆われるこの時期、徳島辺りの山ではシイ(椎)の木の花が猛烈な匂いを出します。いいにおいと言えるものではありませんが、何かなつかしいような、官能的とも言えるような強い匂いです。目眩がするような、都会に住むことになって心理の奥底に眠ってしまった野生を呼び起こす、野蛮さをも含んだものでした。房総も植生は徳島に似ていて、シイの木は山ではよく見られます。船橋に住んでいた時には時折この匂いに気付くことがありましたが、打瀬ではもちろんありません。自然は五感を通して人のこころを揺さぶるものだと知りました。今日はウタスポ。また近代都市の生活がはじまります。

技術: #10-612 松村守康 (T&F:211-6853/m-matz@mxq.mesh.ne.jp)

集

後

記



都市公団

www.udc.go.jp

賃貸住宅のお問い合わせは

総合募集センター津田沼案内所

TEL:047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは

日本総合住生活(株)千葉支店

TEL:043-277-7371

「地域交流特別クラブ」についてのお知らせとお願い

千葉市立打瀬小学校

5月23日付の学校だよりで、特別クラブの紹介並びにご協力をお願いを書かせていただきましたが、本誌で再度お願いしたいと思います。

地域交流特別クラブのねらい

学校の正課の学習では得られない知識・経験等を、地域の皆様の力をお借りし、子供たちに伝えていただいたり、体験させていただき広い視野や生活実感を育むことを目指しています。

人間どこで、何がきっかけで将来の職業や趣味へ発展するとも限りません。これまでも小学校でのクラブを中学校で興した例がいくつもあります。小学校での経験が生き、企画・実行する力となってくれるのはうれしいものです。

自ら企画できる創造性と困難を乗り越えて実現させる精神的な強さは、これからの時代に最も必要な能力（学力）と言えるでしょう。

6月～7月にボランティア等力お願いの便りを出させていただきますが、返事は第1回c地域交流特別クラブ[7月1日(土)]の後でも結構です。まずは、御覧くださいりお考えいただければありがたいです。一緒に子供を育ててくださる方がお一人でも多くいらっしゃることを願っております。



グランドゴルフ



紙工作

どんなクラブがあるのでしょうか

いくつか紹介します。

運動系では「グランドゴルフ」「バスケットボール」「ボールゲーム」等。

手先を使う体験では、「フラワーアレンジメント」「ペーパークラフト」「紙トンボ作り」「生け花」等。

語学系では「韓国語会話」「英会話」「百人一首」「ハンダ文字で名前を書こう」等。

医学・工学・情報・環境系では「コンピュータ」「気象情報」「航空工学」等。

音楽系では、「童謡」「オペラのアリア」等、多彩です。

子供にどのように接していただきたいか

大人の目で見るとの高度な知識・技術は必要ありません。講師の方の生き方が伝わるよう、子供にゆっくりと語りかけるゆとりを持って臨んでくだされば十分です。難しい言葉はやさしい言葉に置き換えていただければ一層興味をひくと思います。上記と全く異なった分野も大歓迎です。

校外学習を終えて

千葉市立打瀬中学校

鮮やかな緑とさわやかな風が舞う5月、打瀬中学校では1年生と3年生が校外学習を実施しました。3年生は5月13日から2泊3日で京都・奈良方面に出かけました。1日目は京都の伝統工芸を見学や体験。2日目は京都・奈良方面を班ごとに見学。3日目はなかなか見られない京都三大祭「葵祭」を見学。修学旅行後の学級通信にこんなことが載っていました。「楽しかった修学旅行を文字で残そう」と題して漢字一字、三文で表すのです。

[庄] 京都・奈良の旅で一番心に残ったのは何と言っても東大寺。世界最大級の木造建築だけあってその大きさには圧倒された。金剛力士像も迫力があつた。(K・A)。[風] 京都の風は暖かい。京都の人たちはもっと温かい。ほんとに3日間が風のように過ぎていった。(D・M)。「音も無く通り過ぎる行列。えっ、これが京都の三大祭の一つですか？祭って言うからもっとにぎやかなものを想像していたのに・・・。」と引率した先生のコメント。



清水焼の体験学習（3年生）

1年生は5月26日に茨城県自然博物館（茨城県岩井市）を見学してきました。班ごとに研究テーマを設け、宇宙や自然、人間と環境といった展示物がある館内のほかに、カ植物や地学コースが設置されている野外施設を利用して貴重な体験をしてきました。

空気や体重の圧力の仕組みがとてもよくわかった。生命の仕組みの「見る体験」でトンボの目で見た六角形のミザイクはなかなかよくわからなかった。（Y・T）。

動物の巣に行き、動物になりきったように思いっきり遊びました。そこでほとんどの時間を過ごしました。動物はおもしろい巣に暮らしていてうらやましいなと思いました。（略）私は博物館が大嫌いなので、あまり行きたくないなと思っていたけれども、行ってみてすごく楽しかったです。（A・M）生徒の感想から。



自然博物館（1年生）

@SPACE

日々の練習の総決算である総体を7月にひかえ、各部活動の練習は一段と熱の入ったものになっています。梅雨の時期をどう乗り切るか。皆さん頑張って下さい。

テニス部（軟式）

千葉県中学生ソフトテニス団体選手権

会場：千葉県総合運動場 4月29日（土）男子団体戦

- 1回戦 打瀬3-0 岩名（野田市）
- 2回戦 打瀬2-1 白井西（印旛郡）
- 準々決勝 打瀬0-2 横芝（山武郡）

準優勝校の横芝にあと一步というところまで競り合いました。夏の総体で上位入賞を目指して、また頑張りたいと思います。（顧問談）。

千葉市民総合体育大会（ソフトテニス中学生の部）

会場：青葉の森スポーツプラザ

5月13日（土）

男子団体戦

五ヶ崎・藤本組、小川・木下組、三松・金城組

いずれも3回戦進出

5月14日（日）

女子団体戦

印旛・藤山組 3回戦進出（7/2の県大会へ）、

高田・正橋組、橋本・庄司組：2回戦進出

修学旅行中の3年生に代わって、今回は2年生が出場。

他校の3年生を相手に健闘してくれました。（顧問談）。

京葉地区船橋市長杯ソフトテニス大会

会場：船橋市運動公園

5月21日（日）男子団体戦

- 1回戦 打瀬3-0 船橋
- 2回戦 打瀬2-0 大津ヶ丘（市川）
- 準々決勝 打瀬0-2 茂原東

陸上競技部

千葉市民総合体育大会

会場：青葉の森スポーツプラザ

5月21日・28日（日）

- 3年女子 100M 第2位 13"16 高橋文美
- 1年女子 100M 第2位 14"03 田岡春菜
- 共通女子 100M ハードル 第2位 16"06 高橋文美
- 女子 4×100M リレー 第2位 53"36

（天野裕季、武桃子、奥村真未、高橋文美）

- 1年女子 走り幅跳び 第3位 4M04 北川晶子
- 1年男子 走り幅跳び 第6位 4M50 三橋亮吾
- 共通 200M 第6位 29"00 武桃子

女子団体 総合第3位 25点

女子団体3位。冬の地道な練習が報われ、ほっとしています。1年生の健闘が光りました。（顧問談）。